

回 覧

令和 8 年 5 月 14 日に開催した小泉地域地区懇談会の議事要旨を
地域の皆さまにお知らせします

1 テーマ 令和 8 年度主要事業について

2 おもな意見

①現在の町内会加入率を教えてください。

回答（環境文化部長）

令和 8 年 4 月 1 日現在で 62.57%です。

②新しい住宅に入居された方が、住宅メーカーの勧めで町内会に加入しました。このような事例もあるため、町内会加入への勧奨を積極的にしてもらえるように、市から住宅メーカーへ働きかけてください。

回答（環境文化部長）

市内の不動産事業者を訪問し、入居者に対して町内会加入を勧めてもらうように依頼しています。住宅メーカーへの働きかけについても、今後検討します。

③新聞報道で下水道の老朽化が取り上げられており、多治見市でも同様の課題があると思います。下水道の更新には多額の費用が必要と思いますが、今後どのように対応する方針でしょうか。

回答（上下水道施設課長）

当市でも下水道の老朽化が進行していますが、国の補助金を活用し緊急性が高いところから順次対策を進めていきます。

回答（市長）

下水道の老朽化対策について、国に対して財政支援を要望しているところです。特に県病院前の道路下にある下水道は、緊急度が高い箇所とされていますが、交通量が非常に多く、どの工法で改修を進めるべきか検討しているところです。また、国も、どの工法が最適で確実であるかについて知見が確立されていないため、国の情報提供も踏まえながら、順次対応を進めていきます。

④町内会を脱会する理由として、「町内会の仕事が多すぎる」という声が多くあります。現在は共働き世帯が増え、地域活動のために仕事を休まなければならないケースもあり、加入率低下の要因になっていると思います。

回答（環境文化部長）

区長会でも課題共有しており、市から地域にお願いする業務や各種委員の見直しを進めています。また、福祉委員や体育委員などについても、地域の実情に応じて柔軟に対応しています。

- ⑤町内会は高齢化が進んでおり、若い世代をどう加入させるかが課題です。
例えば、次世代同士の横の繋がりを作るために、町内会青年部のような組織づくりも考えられますが、市にも協力をお願いしたいです。

回答（環境文化部長）

若い世代の地域参加は重要だと認識しています。どのように若い世代の町内会加入率を増やしていくかについては、地域と相談しながら進めていきます。

- ⑥小泉中学校体育館南側にマンホールトイレがあることを、防災委員になって初めて知りました。マンホールトイレの存在は、地域住民にもあまり知られていないと思います。災害時にはトイレが必ず必要になるため、小泉小学校へもマンホールトイレの整備や周知を進めて欲しいです。

回答（企画部長）

マンホールトイレは計画的に整備を進めており、小・中学校などの避難所となる施設に順次、整備しています。総合防災訓練や地区防災訓練などで当該トイレの説明や活用体験の機会を提供し、引き続き周知に努めます。

- ⑦岐阜県の調査によると、多治見市は他の自治体と比較しても、町内会の業務が多いようです。例えば、広報紙の配布やゴミ集積所の管理などは、地域で対応しないところもあるようです。また、若い世代の生活様式も変化しているため、デジタル回覧板の活用などを進め、地域の負担を軽減してほしいです。

回答（環境文化部長）

区の方で回覧の回数をまとめることで、負担を減らしていただいている例もあります。市でも回覧内容を精査し、回覧数の見直しに取り組んでいます。他の業務についても、地域と相談しながら負担軽減に努めていきます。

- ⑧過去に検討されていた（仮称）平和太平線（太平町方面から土岐川を越えて接続する道路）の構想はどうになりましたか。

回答（市長）

県道ですので、県が主体の道路となりますが、県の調査において、交通量と予算を比較した費用対効果の観点から、事業化は困難だという結果が出され、現在具体的に進んでいません。一方で、市として渋滞対策の必要性は理解しています。国の直轄事業となった東濃西部都市間連絡道路の整備を国・県と連携しながら進めていき、渋滞対策の道筋をつけていきたいと考えています。